



資料編

資料1 高齢者福祉・介護保険に関するニーズ調査結果

平成27年度から29年度を計画期間とする「能代市高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画」を策定するにあたり、市民の日常生活の状況、身体の状態、健康づくりに対する意識、福祉・介護保険事業に関する意見などをうかがい、計画づくりの参考資料として活用するために実施した。以下にその概要を示す。

1 調査対象及び回答状況

○調査対象

65歳以上の高齢者 2,000人（抽出）

うち回答者数 1,194人（回答率59.7%）

アンケート発送及び回答状況

内訳	区分	発送者数及び割合	回答者数及び回答率
(1) 男女別	男	775人 (38.8%)	462人 (59.6%)
	女	1,225人 (61.2%)	732人 (59.8%)
			未記入 0人
(2) 年齢別	65～69	455人 (22.8%)	274人 (60.2%)
	70～74	426人 (21.3%)	274人 (64.3%)
	75～79	422人 (21.1%)	257人 (60.9%)
	80～	697人 (34.8%)	389人 (55.8%)
			未記入 0人
(3) 地域別	能代	1,500人 (75.0%)	919人 (61.3%)
	二ツ井	500人 (25.0%)	275人 (55.0%)
			未記入 0人

2 調査内容

①国が示した日常生活圏域ニーズ調査の項目

ア 家族や生活状況 イ 運動・閉じこもり ウ 転倒防止 エ 口腔・栄養
オ 物忘れ カ 日常生活 キ 社会参加 ク 健康

②市独自の高齢者福祉・介護保険に関する意識調査の項目

ア 高齢者の見守り、地域福祉 イ 今後の生活についての動向
ウ 高齢者福祉・介護保険制度全般

3 調査期間

平成26年5月～6月（郵送）

4 調査結果の概要

○調査対象の基本属性、回答率等について

調査の記入者は、本人が70.1%で、家族が23.6%。

年齢階層別では65～69歳と70～74歳、性別では女性、地域別では能代地域の回答率が高い。

また、要介護認定（要介護1～5）を受けている人の割合は、10.2%となっている。

設問 1 家族や生活状況について（問1～問7）

- ・「家族と同居」は67.8%で、同居家族は「配偶者」が70.2%、ひとり暮らし高齢者は24.4%
- ・現在、何らかの介護を受けているが17.4%で、介護・介助が必要になった原因は、「高齢による衰弱」が27.0%、「認知症」20.0%、「脳卒中」16.3%など
- ・主な介護者・介助者は、「配偶者」が25.5%で最も多い。
- ・介護者の年齢では、高齢者が高齢者を介護・介助している割合が、約4割弱。
- ・現在の暮らしの状況では、生活が苦しいと感じるは71.6%。

設問 2 運動・閉じこもりについて（問8～問11）

- ・5m以上歩けない 8.8%
- ・週に1回以上外出していない 12.4%

設問 3 転倒予防について（問12）

- ・以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思う 61.0%
- ・転倒に対する不安は大きい 46.5%
- ・この1年間に転んだことがある 25.0%

設問 4 口腔・栄養について（問13～問18）

- ・BMIは、「普通体重」59.0%で、以下「肥満1度」22.9%、「低体重」8.3%
- ・定期的に歯科検診をしていない 71.7%
- ・6か月前と比べて固いものが食べにくくなった 27.7%
- ・口の渇きが気になる 27.0%
- ・お茶や汁物等でむせることがある 26.8%

設問 5 物忘れについて（問19～問21）

- ・今日が何月何日かわからない時がある 30.7%。
- ・周りの人から『いつも同じ事を聞く』などの物忘れがあるとされる 22.7%
- ・人に自分の考えをうまく伝えられるかでは、「あまり伝えられない」が2.9%、「ほとんど伝えられない」が2.0%

設問 6 日常生活について（問 22～問 24）

- ・自分で請求書の支払いをしている 76.3%
- ・食事は自分出食べられるか 94.0%
- ・自分でトイレができる 93.2%
- ・50m以上歩けない 8.2%
- ・階段を昇り降りできない 8.5%
- ・家事全般ができていない 76.8%

設問 7 社会参加について（問 25～問 30）

- ・新聞を読んでいる 85.7%
- ・健康についての記事や番組に関心がある 81.3%
- ・参加しているグループ活動等は、「町内会・自治会」36.8%、「趣味関係のグループ」25.9%、「スポーツ関係のグループやクラブ」16.5%。
参加していないグループ活動等は、「老人クラブ」72.2%、「学習・教養サークル」69.6%。
- ・家族や友人・知人以外の相談相手は、「医師・歯科医師・看護師」19.0%、「社会福祉協議会・民生委員」17.1%、「そのような人はいない」36.6%
- ・友人・知人と会う頻度は、「月1～3回」22.4%、「年に数回」19.2%

設問 8 健康について（問 31～問 38）

- ・普段、自分で健康だと思う 62.1%
- ・現在治療中、または後遺症のある病気は、「高血圧」45.7%、「目の病気」25.1%、「筋骨格の病気」20.3%など。「病気がない」は9.1%。
- ・現在飲んでいる薬の種類は、「5種類以上」27.8%、「飲んでいない」14.2%。
- ・現在、病院・医院に通院している 79.6%、通院の頻度は「月1回程度」51.0%、院に介助を要する 18.8%。
- ・利用している介護サービスは、「通所介護」5.9%、「訪問介護」2.8%、「短期入所」2.4%、「訪問診療」1.3%、「医師や薬剤師などによる療養上の指導」1.2%、61.8%は「どれも利用していない」
- ・飲酒する割合は、3割程度、喫煙者の割合は8.3%。
- ・ここ2週間の状況について、「以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる」51.7%、「わけもなく疲れたような感じがする」37.4%、「毎日の生活に充実感がない」29.1%、「自分が役に立つ人間だと思えない」27.6%。

5 調査結果の分析・評価

高齢者福祉・介護保険に関するニーズ調査結果に基づき、生活機能等の項目別リスク分析、各地区のリスク該当状況をまとめた。

(1) 項目別リスク分析

男女別・認定状況別の項目別のリスクについて年齢階層とクロス集計した。

①運動器リスクでは

女性の85歳以上が高くなっており、二次予防では65～69歳と85歳以上、要支援、要介護ではいずれも70～74歳でリスクが高まっている。

②閉じこもりリスクでは

男女とも85歳以上がもっとも高く、要介護ではいずれの年齢階級でも高く、要支援の65～69歳でも、突出して高い状況にある。

③転倒リスクでは

男女とも年齢が上がるにつれて高くなり、一般でも同様の傾向にある。他の認定状況では70～74歳と80～84歳でリスクが高い状況にある。

④栄養リスクでは

女性の80～84歳以上がひときわ高く、要支援の75～79歳、要介護の80～84歳での高さも目立つ。

⑤口腔リスクでは

男性では80～84歳以上、女性では85歳以上が高く、二次予防が要支援、要介護に比較して高い状況にある。

⑥認知症リスクでは

男女ともに年齢が上がるにつれて高くなり、男性の85歳以上でひときわ高くなる状況にある。総じて一般、二次予防、要支援、要介護の序列順に高くなっている。

⑦認知機能障害程度（CPS）では

男女とも年齢が上がるにつれて高くなり、85歳以上では一般で2割以上、二次予防でも6割以上が該当している。

⑧うつ予防では

男性は70～74歳、85歳以上で高く、女性は75～79歳と85歳以上で高い状況にある。二次予防、要支援、要介護については、いずれの年齢階級においても該当者割合は5割以上となっている。

⑨虚弱では

男女ともに年齢が上がるにつれて高くなり、特に85歳以上で急激に高くなる。要介護では、いずれの年齢階級においても7割以上が該当している。

⑩基本チェックリスト得点では

男女別、年齢階級別に平均得点でみると、男性、女性いずれも年齢が上がるにつれて得点が低下する傾向がうかがわれる。

一般についてはいずれの年齢階級においても全体平均を上回る一方、二次予防、要支援、要介護については、いずれの年齢階級においても全体平均を下回っている。

⑪二次予防対象者では

男女ともに年齢が上がるにつれて高くなり、特に 85 歳以上で急激に高くなる状況にある。

⑫手段的自立度では

男女別、年齢階級別に低下者割合をみると、男性、女性いずれも年齢が上がるにつれて高くなり、特に男性は 85 歳以上、女性は 75～79 歳以上からの上昇傾向が顕著である。

要介護では 65～69 歳の年齢階級で 6 割、それ以外の年齢階級では 8 割以上となっており、また二次予防については、85 歳以上での上昇が目立っている。

⑬生活機能総合評価では

男女別、年齢階級別に低下者割合をみると、男性、女性いずれも年齢が上がるにつれて高くなり、特に 80～84 歳からの上昇傾向が顕著である。

要介護ではいずれの年齢階級においても 8 割以上となっており、要支援については 75～79 歳からの上昇傾向が顕著である。また、二次予防では、80～84 歳での上昇が目立っている。

⑭日常生活動作（ADL）では

男女別、年齢階級別に平均得点をみると、男性、女性いずれも年齢が上がるにつれて低下する傾向で、85 歳以上の低下が顕著であり、80～84 歳以上では女性が男性を大きく下回っている。総じていずれの年齢階級においても一般、二次予防、要支援、要介護の序列順に得点が低くなっている。

また、ADL 得点累積相対度数をみると、一般は高得点が大半のため L 字型分布となっている一方、要介護は高得点から低得点に分散しているため、直線に近い分布となっている。二次予防及び要支援は、一般と要介護の間に分布している。

⑮知的能動性では

男女別、年齢階級別に低下者割合をみると、男性、女性いずれも年齢が上がるにつれて高くなり、特に女性は 75～79 歳からの上昇傾向が顕著であり、以降の年齢階級で男性を上回っている。

要支援の 70～74 歳年齢階級を除き、ほぼ一般、二次予防、要支援、要介護の序列順に高くなっていく。

⑯社会的役割では

男女別、年齢階級別に低下者割合をみると、男性、女性いずれも年齢が上がるにつれて高くなり、また、いずれの年齢階級においても男性が女性を上回っている。

要支援の 75～79 歳階級で低い数値がみられるものの、総じて、一般、二次予防、要支援、要介護の序列順に高くなっている。

(2) 各地区のリスク該当状況

①本庁地区、②南地区、③向能代地区、④東部地区、⑤常盤地区、⑥二ツ井地区の6地区に分類し、項目ごとのリスク該当状況を比較した。

各地区の回答者の数や年齢構成、性別、要介護度等の状況の差が有り、単純な比較はできないかもしれないが、この度のニーズ調査結果の一つの参考として示すものである。

①運動器リスクでは

要介護認定者を除き、16.3%の人がリスクありとなっているが、地区別では南地区が20.2%で最も高く、二ツ井地区が11.9%で最も低い。

②閉じこもりリスクでは

要介護認定者を除き、6.6%の人がリスクありとなっているが、地区別では常盤地区が21.4%と突出して高く、東部地区が3.0%で最も低い。

③転倒リスクでは

34.0%の人がリスクありとなっているが、地区別では常盤地区が56.0%で最も高く、向能代地区が27.7%で最も低い。

④栄養リスクでは

要介護認定者を除き、0.9%の人がリスクありとなっているが、地区別では二ツ井地区が1.3%で最も高く、南地区、東部地区、常盤地区は0%だった。

⑤口腔リスクでは

要介護認定者を除き、19.2%の人がリスクありとなっているが、地区別では常盤地区が28.6%で最も高く、二ツ井地区が16.0%で最も低い。

⑥認知症リスクでは

要介護認定者を除き、42.6%の人がリスクありとなっているが、地区別では東部地区が53.1%で最も高く、本庁地区が39.1%で最も低い。

⑦認知機能障害程度（CPS）では

30.8%の人が障がいありとなっているが、地区別では常盤地区が46.4%で最も高く、向能代地区が28.4%で最も低い。

⑧うつ予防では

要介護認定者を除き、46.2%の人がリスクありとなっているが、地区別では本庁地区が48.4%で最も高く、常盤地区が38.5%で最も低い。

⑨虚弱では

要介護認定者を除き、7.6%の人がリスクありとなっているが、地区別では東部地区が10.9%で最も高く、二ツ井地区が4.2%で最も低い。

⑩基本チェックリスト得点では

要介護認定者を除き、20点中14.9点となっており、地区別では二ツ井地区が15.5点と最も高く、常盤地区が12.2点で最も低い。

他の地区はおおむね平均値となっている。

⑪二次予防対象者では

要介護認定者を除き、28.3%となっているが、地区別では常盤地区が33.3%で最も高く、二ツ井地区が23.8%で最も低い。

⑫手段的自立度では

23.8%の人がリスクありとなっているが、地区別では東部地区及び常盤地区が34.6%で最も高く、南地区が19.0%で最も低い。

⑬生活機能総合評価では

31.6%の人がリスクありとなっているが、地区別では常盤地区が45.5%で最も高く、南地区が22.9%で最も低い。

⑭日常生活動作（ADL）では

100点中93.4点となっており、地区別では東部地区が89.4点、常盤地区が89.6点となっているほか、おおむね平均値となっている。

⑮知的能動性では

40.8%の人がリスクありとなっているが、地区別では常盤地区が53.8%で最も高く、南地区が37.1%で最も低い。

⑯社会的役割では

55.8%の人がリスクありとなっているが、地区別では向能代地区が60.0%で最も高く、二ツ井地区が48.8%で最も低い。

(3) 自由記載欄の分類

「高齢者福祉や介護保険制度などに関する事で、日頃感じていることがあればご自由にお書き下さい。」という設問に対する回答を、9分野に分類した。

1. 生きがい・社会参加、介護予防に関する事	49 件
2. 保健・医療に関する事	4 件
3. 介護保険等の社会福祉制度に関する事	37 件
4. 介護保険料・サービス自己負担について	14 件
5. 介護保険サービスに関する事	20 件
6. 生活全般に関する事	86 件
7. 経済的な問題（不安）に関する事	20 件
8. 行政に対する感想・要望など	20 件
9. アンケートに関する事・その他	11 件

計 261 件

資料2 計画策定経過

○能代市活力ある高齢化推進委員会開催状況

日 時	回 数	概 要
平成 26 年 6 月 30 日 (月)	第 1 回	<ol style="list-style-type: none"> 1 能代市高齢者福祉計画・第 5 期介護保険事業計画の検討状況及び次期計画に向けた課題について 2 認知症対策について 3 高齢者福祉・介護保険に関するニーズ調査（日常生活圏域ニーズ調査）の実施状況について
平成 26 年 9 月 24 日 (水)	第 2 回	<ol style="list-style-type: none"> 1 第 1 回活力ある高齢化推進委員会の概要 2 人口推計と認定者数および認定率の推計について 3 介護予防の推進について 4 在宅介護サービスの基盤整備について 5 入所施設の整備について
平成 26 年 10 月 29 日 (水)	第 3 回	<ol style="list-style-type: none"> 1 日常生活圏域ニーズ調査について 2 地域包括支援センターの役割について 3 高齢者福祉計画・第 6 期介護保険事業計画体系（案）について
平成 26 年 11 月 26 日 (水)	第 4 回	<ol style="list-style-type: none"> 1 認知症対策について 2 能代市高齢者福祉計画・第 6 期介護保険事業計画素案について 3 パブリックコメントについて
平成 27 年 2 月 18 日 (水)	第 5 回	<ol style="list-style-type: none"> 1 第 5 期介護保険事業計画の実施見込みについて 2 意見公募の実施結果について 3 能代市高齢者福祉計画・第 6 期介護保険事業計画（案）について